

第4回 番組審議会 議事録

1. 開催日 令和7年5月21日 17時から18時まで
2. 開催場所 FM はたらんど分室
3. 委員出席 委員総数5名 出席委員数3名

<出席委員氏名>

山崎 文久
寺尾 真吾
野元 道子

<欠席委員氏名>

杉本 絢哉
友永 公生

4. 議題

- ① 審議番組の放送内容について
- ② 次回開催日程について
- ③ その他

5. 審議番組の内容について

審議番組 Blue Hawai HATA「はたぶら」
審議対象回 2025年5月3日（土）14:00～14:54
提供 オレンジワークス株式会社

審議対象の番組については各委員に事前にお聞きいただき、以下の通り意見交換があった。

（委員）明るい雰囲気であるところは良かったと感じる。スタッフ同士の会話がリポートより勝っている場面もあったか。

（委員）リポーターの言葉遣いにムラがあった。丁寧な時もあったが、例えば、「向こうから来ました」という表現は違和感がある。

（委員）当日はTシャツアート展ということで、全体的に陽気な雰囲気は伝わってきた。コミュニティFMとして、このような地元らしいイベントの中継は良い。

(委員)「はたぶら」とはどのような趣旨の番組か。

(事務局) 本来は幡多の人があまり行かないところに出向き放送するもの。必ずしもずっとインタビューすることは想定されておらず、風景描写も大切な要素の一つ。

(委員) その意味でも、今回は人にフォーカスされていた感があるため、場所や風景の描写があればさらに良かった。「それでは、波打つ浜辺に移動してみましよう」といった感じで移動すると臨場感もさらに出たり。

(委員) 人へのフォーカスでも、高校生や先生が何回か出ていて偏りが感じられた。「〇〇先生はいつもいます」という表現もちょっと気になる。

(委員) リスナーの方で途中から聴き始める方もおられるだろうから、曲明けその都度今どこに居て何の中継をしているか紹介があるとベター。

(委員) インタビューの際のリポーターの言葉遣いや態度は気になるところがあった。リスナーによっては不快に感じる場合があるかも。例えば、郵便局員とのやりとりなど。

(委員) スタジオスタッフとのやりとりは軽妙で楽しく、番組を盛り上げている。

6. 次回開催日程について

第5回番組審議会は秋頃に開催予定で、詳細はおって調整させていただきたい旨事務局より説明があった。

7. 審議機関の答申又意見の概要の公開

第4回番組審議会の概要は、FM はたらんどホームページで公表する旨事務局より説明があった。